



我ら岬中

自他を大切に作る心と態度を養い
自己有用感をもてる生徒の育成

- ・人権尊重の視点に立った学校づくり
- ・「誰かの役に立てた」という集団の一員としての自信の獲得

	男	女	合計
1年	50	49	99
2年	42	46	88
3年	57	48	105
合計	149	143	292

岬中HP更新中

活躍光る！全国・関東大会へ！



スタートラインに立つ さん(右から2人目)

8月に福島市で開催された全日本中学校通信陸上競技大会において、さん(3C)が女子共通1500mの部に出場しました。参加標準記録を突破した全国の精鋭50名のうちの1人として、中学生最高峰の大会に2年連続で出場したさん。「6月にケガをして今年は無理かなと思っていた。でも、最後のチャンスだった県総体は、レース前からタイムを切れる不思議な自信があった。全国大会は完全に体力が戻らず満足いく結果ではなかった。次は駅伝で区間賞を目指したい。」と、既に新たな目標を見据えていました。

また、神奈川県で開催された関東中学校陸上競技大会には、さん(1A)が出場。1年800mの部で、見事6位入賞を果たしました。



さらに、茨城県で開催された関東中学校水泳競技大会に、本校水泳チームの4名(さん[2B]・さん[1B]・さん[1B]・さん[1B])が出場し、総合の部5位、4×100mメドレー5位、4×100mリレー6位に入賞する活躍を見せました。唯一の2年生のさんは、「関東では入賞とベスト更新が目標だった。個人はベストが出たが、あと0.3秒上げて決勝に行きたかった。今も毎日2時間、泳ぎ込んでい

る。」と、さらなる高みを目指し努力することを力強く語ってくれました。

本校水泳チーム、県新人を制す！



9月11日に千葉県国際水泳場で開催された千葉県中学校新人水泳競技大会で、本校水泳チームが、見事総合優勝(男子)を飾りました。さん・さん・さん・さんの4人で構成された本校チームは、リレー2種目でそれぞれ2位、個人種目でも50mバタフライで1位の他、2種目で入賞し、学校ごとの獲得ポイントで争われる総合の部で優勝の快挙を成し遂げました。

【結果】総合(学校対抗)優勝 岬中学校 (敬称略)

200mメドレー	2位	岬中学校
200mリレー	2位	岬中学校
50mバタフライ	1位	
100m背泳ぎ	2位	
50m自由形	4位	



陸上部も県大会で入賞！



10月1・2日に千葉県総合スポーツセンターで開催された千葉県中学生新人陸上競技大会女子共通1500mの部で、さん、さん(2B)、さん(2C)の3名が決勝に進出。さらに、さんが3位、

さんが5位に入賞しました。同一校から3名が同一種目の決勝に進出するのは極めて難しく、本校長距離のレベルの高さを示しました。

新チーム初の公式戦 ～郡市新人体育大会～

9月11日の陸上競技を皮切りに、夷隅郡市新人体育大会が開催されました。1・2年生の新チームが発足して初めての公式戦です。緊張に押しつぶされそうになりながらも、精一杯頑張ろうとする姿に胸が熱くなりました

【大会結果】(敬称略) ★は県大会出場

<バスケットボール部>	準優勝
<サッカー部>	準優勝
<バレーボール部>	惜敗
<卓球>	惜敗
<野球>	第3位

<陸上競技部>

[男子]

1年100m	1位
2年100m	1位
共通200m	1位
共通400m	1位
共通800m	1位
共通1500m	2位
共通4×100mR	1位

[女子]

共通200m	3位
共通800m	1位
共通1500m	1位
共通400m	3位
共通1500m	2位
共通4×100mR	1位

<ソフトテニス>

[男子] 団体	3位	1年個人	優勝
[女子] 団体	惜敗	1年個人	準優勝

<柔道部>

[女子] 団体	準優勝★
個人(階級別)	優勝
	準優勝
	3位
[男子] 個人(階級別)	3位

<剣道> [女子] 団体 3位 個人 3位

連絡黒板

10/21(金)12:30～文化発表会
★各家庭1名でお願いします。

◆衣替えについて

本校では明確な衣替えの時期を設定していません。各自の判断で冬服へ移行してください。なお、登下校については、引き続きジャージ・体操服可とし、制服が必要な場合は、生徒を通じて連絡します。

◆SNSトラブル防止について

保護者の方々が、学校行事等の際に撮影したお子様以外の生徒が映った写真・動画をSNS等に無断で投稿し、トラブルになる事案が多いとの報道がありました。個人情報保護に十分ご注意ください。

岬中HP更新中

交通安全に一役 ポスターコンクール入賞！



「秋の全国交通安全運動ポスターコンクール」にさん(3B)の作品が入賞し、いすみ警察署で開催された表彰式で、いすみ署長より直接賞状を授与されました。

討論、白熱！「俳句甲子園 in 岬中」



【優勝】さん・さん
さんチーム
さん
さん
さん
A

【推し俳句】
バスを待ち
大路の春を
うたがわず
石田波郷

9月の1階多目的ホールは、連日3年国語の『俳句甲子園』で盛り上がりました。3～4人で構成したチームごとに、自分たちで選んだ推しの俳句を対戦方式でアピールし合うこの戦い。それぞれの句をいかに深く読み込み、その魅力をわかりやすく、かつ熱く伝えられるか、思考し表現する力が求められます。

観ていると、対戦を繰り返すごとに確実に説明的確かさが増し、読みが深まっていくのがわかります。勝敗を判定する聴衆の生徒も、拍手したり、うなずいたりすることで、発表者がより意欲的に表現できるよう後押しする術を、いつの間にか身につけているように感じました。

心に響く瞬間を歌に「5行歌会」

2年国語では、『岬中5行歌会～ひと夏の思い出スペシャル～』を開催しました。夏休みの宿題で、自分の心が動いた瞬間を五行歌で表現することにチャレンジ。

数々の作品の中から、「私のオシウタ」を投票し、クラスごとにグランプリを決定しました。投票の際には選評を添え、読みを深めました。

【グランプリ】

<A組>	さん・	さん
<B組>	さん・	さん
<C組>	さん	

「仲間からの選評」
・風が「そよ風」って言葉になっっているのいい。
・「思い出薄くも」はコロナ禍を表しているのだと思う。

そよ風に
触れて気づくは
夏終盤
思い出薄くも
感じる夏

